

雨水処理設備等（雨水処理系統）に係る確認事項の整理について

2019年11月14日

The logo for TEPCO (Tokyo Electric Power Company) is displayed in red, bold, uppercase letters.

東京電力ホールディングス株式会社

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について



実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

モバイルRO膜装置雨水受入タンク、モバイルRO膜装置処理水タンク
 雨水RO濃縮水受入タンク、ろ過処理水受入タンク

| 確認事項 | 確認項目 | 確認内容 | 判定基準 | 具体的な確認方法 | 関連実施計画 |
|----------|----------|-------------------------|---------------------------|---|--|
| 構造強度・耐震性 | 材料確認 | 使用材料を材料証明書により確認する。 | 実施計画に記載の材料が使用されていること。 | 実施計画に記載の通りの材料であることを図面および材料証明書にて確認する。 | 2.36.2.1.1(8) 2.36.2.1.1(9) 2.36.2.1.1(10) 2.36.2.1.1(11) |
| | 寸法確認 | 主要寸法（板厚，内径，高さ）を確認する。 | 実施計画の記載とおりであること。 | 実施計画に記載の通りの寸法であることを図面および寸法測定記録により確認する。 | 別冊14 II 1.2 別冊14 II 1.3 別冊14 II 1.4 別冊14 II 1.5 |
| | 外観確認 | タンク本体（塗装状態含む）の外観を確認する。 | 有意な欠陥がないこと。 | 目視にて有意な欠陥がないことを確認する。 | |
| | 据付確認 | 組立状態及び据付状態を確認する。 | 組立状態及び据付状態に異常がないこと。 | 組立状態及び据付状態に異常がないことを目視にて確認する。 耐圧・漏えい検査で漏えい確認できないフランジ部については適切に締め付けられていることを確認する。 | |
| | 耐圧・漏えい確認 | 設計・建設規格に基づき耐圧・漏えい試験を行う。 | 各部からの有意な漏えいおよび水位の低下がないこと。 | モバイルRO膜装置雨水受入タンク及びモバイルRO膜装置処理水タンクはトップアングルより50mm下部以内の水位まで水張り，雨水RO濃縮水受入タンク及びろ過処理水受入タンクは溢出口の下部まで水張りし，10分以上保持した後に目視にて確認する。 モバイルRO膜装置雨水受入タンク及びモバイルRO膜装置処理水タンクの底板については耐圧代替検査（局部漏えい検査及び磁粉探傷試験）にて確認する。 | 別冊14 III 1 |

赤字：当社が自主的に実施している確認項目

【補足】

添付資料－5 表－2の確認事項の確認。

モバイルRO膜装置雨水受入タンク及びモバイルRO膜装置処理水タンク底板の耐圧・漏えいについては水張りの耐圧で確認できないことから、耐圧代替検査（局部漏えい検査及び磁粉探傷試験）にて確認する。

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について



実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

モバイルRO膜装置雨水受入タンク堰、モバイルRO膜装置処理水タンク堰
雨水RO濃縮水受入タンク及びろ過処理水受入タンク堰（Dエリア堰）

| 確認事項 | 確認項目 | 確認内容 | 判定基準 | 具体的な確認方法 | 関連実施計画 |
|--------------|-------------|--------------------------|---------------------|--|----------------------------------|
| 構造強度 ・耐震性 | 寸法確認 | 基礎外周堰の高さを確認する。 | 実施計画の記載とおりにあること。 | 寸法測定記録により実施計画の記載とおりにあることを確認する。 | 添付資料－5 表－1 1 別表－1 |
| | 据付確認 | タンク基礎の不陸について確認する。 | 異常な不陸がないこと。 | タンク基礎仕上がり面のレベル測定記録により、異常な不陸がないことを確認する。 (設計高さに対して±30mm以内) | 参考資料－3 1. 4タンク基礎の不陸 |
| | 外観確認 | 基礎外周堰の外観を確認する。 | 有意な欠陥がないこと。 | 目視により有意な欠陥がないことを確認する。 | |
| | 地盤支持力 確認 | 支持力試験にてタンク基礎の地盤支持力を確認する。 | 必要な支持力を有していること。 | キャスポル（簡易支持力測定器）より得られる粘着力を用いて基礎の安定計算を行い、地盤が必要な支持力を有していることを確認する。 | 参考資料－3 1. 3タンク基礎の支持力 |
| 機能・性能 | 寸法確認 | 基礎外周堰の堰内容量を確認する。 | 必要容量に相当する堰内容量があること。 | 基礎外周堰の堰高及び堰内面積測定記録により、必要容量に相当する堰内容量があることを確認する。 | 2. 5章 添付資料－1 2 別紙－6 表－2 |

【補足】

添付資料－5 表－1 1の確認事項及び2. 5章 添付資料－1 2 別紙－3 表－1－1の中低濃度タンク（円筒型）に係る確認事項の内、機能・性能の寸法確認の確認。

（Dエリア堰については、雨水設備タンクを2. 5章中低濃度タンク堰内に設置したことにより2. 5章の堰内必要容量が変更となったことから、2. 5章の確認事項も確認する）

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について

実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

雨水R O濃縮水移送ラインフィルタ容器

| 確認事項 | 確認項目 | 確認内容 | 判定基準 | 具体的な確認方法 | 関連実施計画 |
|--------------|----------|--|---|--|----------------|
| 構造強度 ・耐震性 | 材料確認 | 使用材料を材料証明書により確認する。 | 実施計画に記載の材料が使用されていること。 | 実施計画に記載の通りの材料であることを図面および材料証明書にて確認する。 | 2.36.2.1.1(12) |
| | 寸法確認 | 主要寸法（板厚，内径，高さ）を確認する。 | 実施計画の記載とおりでであること。 | 実施計画に記載の通りの寸法であることを図面および寸法測定記録により確認する。 | 別冊14 II 1.6 |
| | 外観確認 | 容器本体（塗装状態含む）の外観を確認する。 | 有意な欠陥がないこと。 | 目視にて有意な欠陥がないことを確認する。 | |
| | 据付確認 | 組立状態及び据付状態を確認する。 | 組立状態及び据付状態に異常がないこと。 | 組立状態及び据付状態に異常がないことを目視にて確認する。 耐圧・漏えい検査で漏えい確認できないフランジ部については適切に締め付けられていることを確認する。 | |
| | 耐圧・漏えい確認 | 最高使用圧力の1.5倍で一定時間保持後，同圧力に耐えていること，また，耐圧部からの漏えいがないことを立会いまたは記録により確認する。 | 最高使用圧力の1.5倍に耐え，かつ構造物の変形等がないこと。また，耐圧部から漏えいがないこと。 | 最高使用圧力の1.5倍に耐え，かつ構造物の変形等がないこと。また，耐圧部から漏えいがないことを耐圧・漏えい記録により確認する。 | 別冊14 III 1 |

【補足】

添付資料－5 表－1 2の確認事項の確認。

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について

実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

雨水R O濃縮水移送ラインフィルタユニット（堰、漏えい検知器）

| 確認事項 | 確認項目 | 確認内容 | 判定基準 | 具体的な確認方法 | 関連実施計画 |
|-------|------|---|---|--|---------------|
| 漏えい防止 | 寸法確認 | 実施計画に記載されている堰の主要寸法を確認する。 | 実施計画のとおりであること。 | 堰内容積が実施計画に記載されている保有水量以上の容積であることを寸法測定記録により確認する。 | 添付資料－4 表－2 |
| | 外観確認 | 各部の外観を確認する。 | 有意な欠陥がないこと。 | 目視にて有意な欠陥がないことを確認する。（構造強度・耐震性の確認） | |
| | 据付確認 | 堰、漏えい検知器の据付位置、据付状態について確認する。 | 実施計画のとおり据付されていること。 | 実施計画のとおり据え付けられていることを確認する。 | 添付資料－4 図－2 |
| 性能 | 機能確認 | 堰の外観を確認する。 漏えい検知器に漏えい水を模擬し検出器の動作状況を確認する。 | 堰に有意な欠陥がないこと。 水の漏えいが検知でき、警報ランプが点灯表示されること | 堰に有意な欠陥がないことを確認する。（構造強度・耐震性の外観確認時に実施する） 漏えい検知器の信号により警報が発生することを確認する。 設定値：堰底面から水位10mm 許容範囲：水位設定値+5mm （赤：当社の自主管理値） | 添付資料－4 表－2 |

【補足】

添付資料－5 表－9の確認事項の確認。

漏えい防止の寸法確認は堰（ドレンパン）の漏えい拡大防止機能を確認する。

機能確認の堰の外観については、構造強度・耐震性（1号検査）の外観確認にて実施する。

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について



実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

モバイルRO膜装置供給ポンプ

雨水RO濃縮水移送ラインフィルタユニット供給ポンプ

ろ過処理水移送ポンプ

| 確認事項 | 確認項目 | 確認内容 | 判定基準 | 具体的な確認方法 | 関連実施計画 |
|----------|----------|--------------------------|----------------------|-------------------------------------|---|
| 構造強度・耐震性 | 外観確認 | 各部の外観を確認する。 | 有意な欠陥がないこと。 | 目視にて有意な欠陥がないことを確認する。 | |
| | 据付確認 | 機器の据付状態について確認する。 | 施工図等の通り施工・据付されていること。 | 目視にて施工図等の通り施工・据付されていることを確認する。 | |
| | 耐圧・漏えい確認 | 運転圧力で耐圧部分からの漏えいの有無を確認する。 | 耐圧部から漏えいがないこと。 | 運転時に漏えいが無いことを目視確認する。 | |
| 性能 | 運転性能確認 | 通常運転時に性能確認を行う。 | 実施計画に記載された容量を満足すること。 | 実施計画に記載された容量を満足することをポンプ試験成績書にて確認する。 | 2.36.2.1.1(3) 2.36.2.1.1(6) 2.36.2.1.1(7) |
| | | | 異音、異臭、異常振動等がないこと。 | 運転時に異音、異臭、異常振動等がないことを確認する。 | |

※1：タンク内部に設置されているものは、耐圧・漏えい及び運転性能確認は可能な範囲で実施する。

赤字：当社が自主的に実施している確認項目

※2：集水ピット内部に設置されており、耐圧・漏えい及び運転性能確認は可能な範囲で実施する。

※3：雨水処理設備等に関わる主要な確認事項を確認するため、本施設の処理対象となる堰内雨水を用いた通水試験を実施した上で、使用前検査を受検する。

【補足】

添付資料－5表－4の確認事項の確認に加え、運転性能の確認として実施計画に記載された容量を満足することを確認する。

耐圧漏えい確認についてはポンプ運転による運転性能確認時に確認する。（異音、異臭、異常振動等がないこととともに漏えいがないことも確認する。）ただし、雨水RO濃縮水移送ラインフィルタユニット供給ポンプ及びろ過処理水移送ポンプの漏えい確認についてはタンク内部に設置されている水中ポンプで漏えい確認ができないので実施しない。（漏えい以外は確認する）

今回の雨水処理システムの運転性能確認はろ過水を使用して実施する。（雨水移送システムは堰内雨水を使用する）

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について

実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

鋼管

| 確認事項 | 確認項目 | 確認内容 | 判定基準 | 具体的な確認方法 | 関連実施計画 |
|----------|----------|--|---|--|---------------------|
| 構造強度・耐震性 | 材料確認 | 実施計画に記載した主な材料について、材料証明書または納品書により確認する。 | 実施計画の記載とおりであること。 | 実施計画に記載の通りの材料であることを図面および材料証明書にて確認する。 | 2.36.2.1 表2.36.1 |
| | 寸法確認 | 実施計画に記載した主要寸法について、材料証明書または納品書により確認する。 | 実施計画の記載とおりであること。 | 実施計画に記載の通りの寸法であることを図面および材料証明書にて確認する。 | 2.36.2.1 表2.36.1 |
| | 外観確認 | 各部の外観について、立会いまたは記録により確認する。 | 有意な欠陥がないこと。 | 目視にて有意な欠陥がないことを確認する。 | |
| | 据付確認 | 機器が図面のとおりに据付していることを立会いまたは記録により確認する。 | 図面のとおりに施工・据付していること。 | 組立状態及び据付状態に異常がないことを目視にて確認する。 耐圧・漏えい検査で漏えい確認できないフランジ部については適切に締め付けられていることを確認する。 | |
| | 耐圧・漏えい確認 | 最高使用圧力の1.5倍で一定時間保持後、同圧力に耐えていること、また、耐圧部からの漏えいがないことを立会いまたは記録により確認する。 | 最高使用圧力の1.5倍に耐え、かつ構造物の変形等がないこと。また、耐圧部から漏えいがないこと。 | 最高使用圧力の1.5倍の圧力にて10分以上保持し、変形の有無、耐圧部からの漏えいがないことを確認する。 | 別冊14 III 1 |
| 機能・性能 | 通水確認 | 通水ができることを立会いまたは記録により確認する。 | 通水ができること。 | 通水ができることを目視、流入先への流入音、水源・流入先の水位変化等で確認する。 | |

※ 1：雨水処理設備等に関わる主要な確認事項を確認するため、本施設の処理対象となる堰内雨水を用いた通水試験を実施した上で、使用前検査を受検する。

【補足】

添付資料－5 表－5の確認。今回の雨水処理系統の通水確認はろ過水を使用して実施する。（雨水移送系統は堰内雨水を使用する）

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について



実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

ポリエチレン管

| 確認事項 | 確認項目 | 確認内容 | 判定基準 | 具体的な確認方法 | 関連実施計画 |
|--------------|----------|--|---|--|---------------------|
| 構造強度 ・耐震性 | 材料確認 | 実施計画に記載した材料について、製品検査成績書により確認する。 | 実施計画の記載とおりにあること。 | 実施計画に記載の通りの材料であることを図面および製品検査成績書により確認する。 | 2.36.2.1 表2.36.1 |
| | 寸法確認 | 実施計画に記載した主要寸法（外径相当）について、製品検査成績書により確認する。 | 実施計画の記載とおりにあること。 | 実施計画に記載の通りの寸法であることを図面および製品検査成績書により確認する。 | 2.36.2.1 表2.36.1 |
| | 外観確認 | 各部の外観について、立会いまたは記録により確認する。 | 有意な欠陥がないこと。 | 目視にて有意な欠陥がないことを確認する。 | |
| | 据付確認 | 機器が図面のとおり据付されていることを立会いまたは記録により確認する。 | 図面のとおり施工・据付していること。 | 組立状態及び据付状態に異常がないことを目視にて確認する。 耐圧・漏えい検査で漏えい確認できないフランジ部については適切に締め付けられていることを確認する。 | |
| | 耐圧・漏えい確認 | 製品の最高使用圧力以上で一定時間保持後、同圧力に耐えていること、また、耐圧部からの漏えいがないことを立会いまたは記録により確認する。 | 製品の最高使用圧力に耐え、かつ構造物の変形等がないこと。また、耐圧部から漏えいがないこと。 | 製品の最高使用圧力以上で60分以上保持後、同圧力に耐えていること、また、耐圧部からの漏えいがないことを確認する。 | 別冊14 III 1 |
| 機能・性能 | 通水確認 | 通水ができることを立会いまたは記録により確認する。 | 通水ができること。 | 通水ができることを目視、流入先への流入音、水源・流入先の水位変化等で確認する。 | |

※ 1：雨水処理設備等に関わる主要な確認事項を確認するため、本施設の処理対象となる堰内雨水を用いた通水試験を実施した上で、使用前検査を受検する。

【補足】

添付資料－5 表－6の確認。今回の雨水処理系統の通水確認はろ過水を使用して実施する。（雨水移送系統は堰内雨水を使用する）

1. 内容確認事項 検査の確認項目（当社）について



実施計画記載の確認事項及び当社で行う確認事項を以下に示す。

合成ゴム管

| 確認事項 | 確認項目 | 確認内容 | 判定基準 | 具体的な確認方法 | 関連実施計画 |
|--------------|----------|---|---|--|---------------------|
| 構造強度 ・耐震性 | 材料確認 | 実施計画に記載した材料について、製品検査成績書により確認する。 | 実施計画の記載とおりであること。 | 実施計画に記載の通りの材料であることを図面および製品検査成績書により確認する。 | 2.36.2.1 表2.36.1 |
| | 寸法確認 | 実施計画に記載した主要寸法（外径相当）について、製品検査成績書により確認する。 | 実施計画の記載とおりであること。 | 実施計画に記載の通りの寸法であることを図面および製品検査成績書により確認する。 | 2.36.2.1 表2.36.1 |
| | 外観確認 | 各部の外観について、立会いまたは記録により確認する。 | 有意な欠陥がないこと。 | 目視にて有意な欠陥がないことを確認する。 | |
| | 据付確認 | 機器が図面のとおり据付していることを立会いまたは記録により確認する。 | 図面のとおり施工・据付していること。 | 組立状態及び据付状態に異常がないことを目視にて確認する。 耐圧・漏えい検査で漏えい確認できないフランジ部については適切に締め付けられていることを確認する。 | |
| | 耐圧・漏えい確認 | 製品の最高使用圧力の1.5倍で一定時間保持後、同圧力に耐えていること、また、耐圧部からの漏えいがないことを立会いまたは記録により確認する。 | 製品の最高使用圧力の1.5倍に耐え、かつ構造物の変形等がないこと。また、耐圧部からの漏えいがないこと。 | 製品の最高使用圧力の1.5倍で10分以上保持後、同圧力に耐えていること、また、耐圧部からの漏えいがないことを確認する。 | 別冊14 III 1 |
| 機能・性能 | 通水確認 | 通水ができることを立会いまたは記録により確認する。 | 通水ができること。 | 通水ができることを目視、流入先への流入音、水源・流入先の水位変化等で確認する。 | |

※ 1：雨水処理設備等に関わる主要な確認事項を確認するため、本施設の処理対象となる堰内雨水を用いた通水試験を実施した上で、使用前検査を受検する。

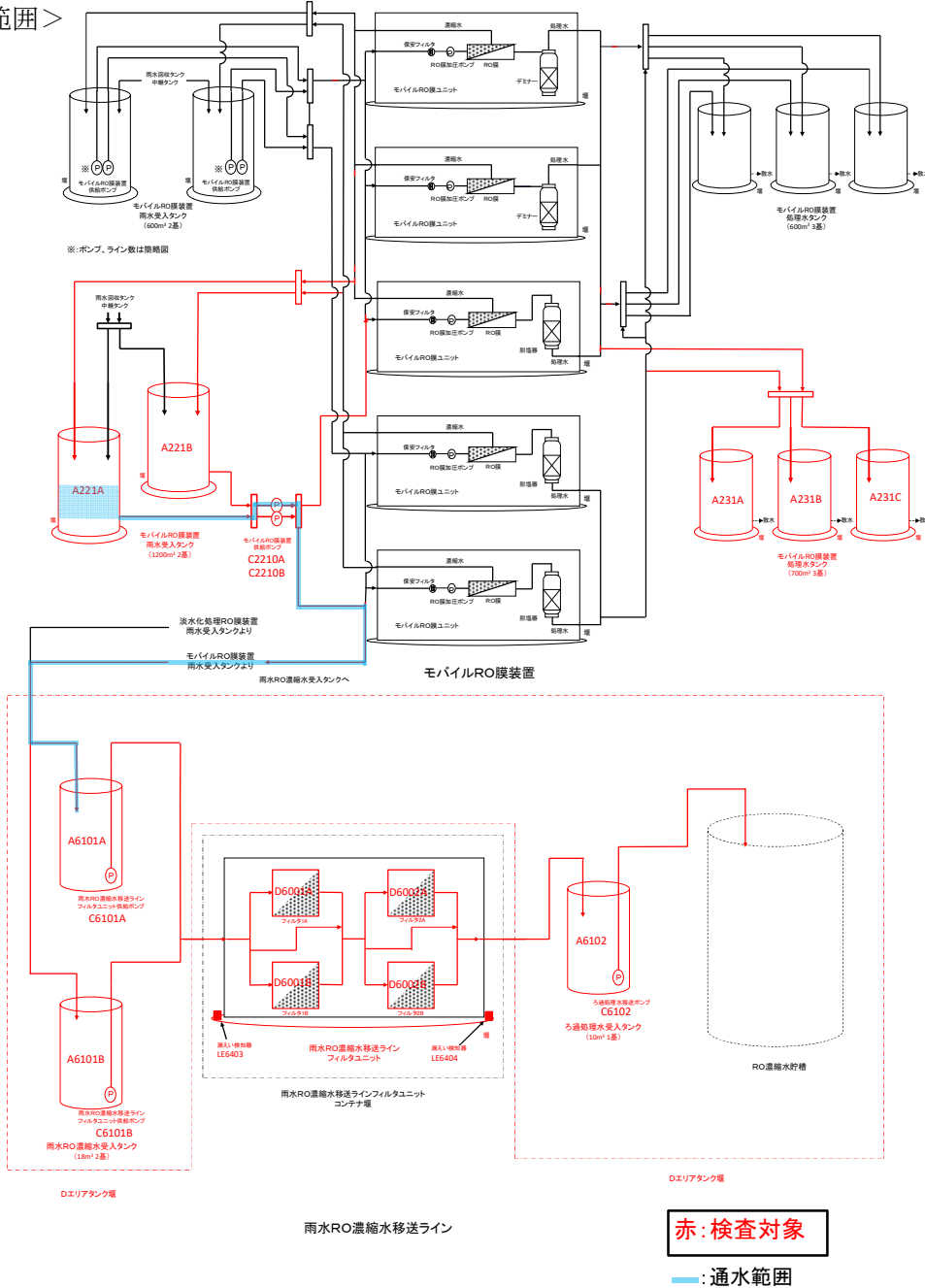
【補足】

添付資料－ 5 表－ 8 の確認。今回の雨水処理系統の通水確認はろ過水を使用して実施する。（雨水移送系統は堰内雨水を使用する）

通水検査要領

1 モバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m³) → 雨水RO濃縮水受入タンク A

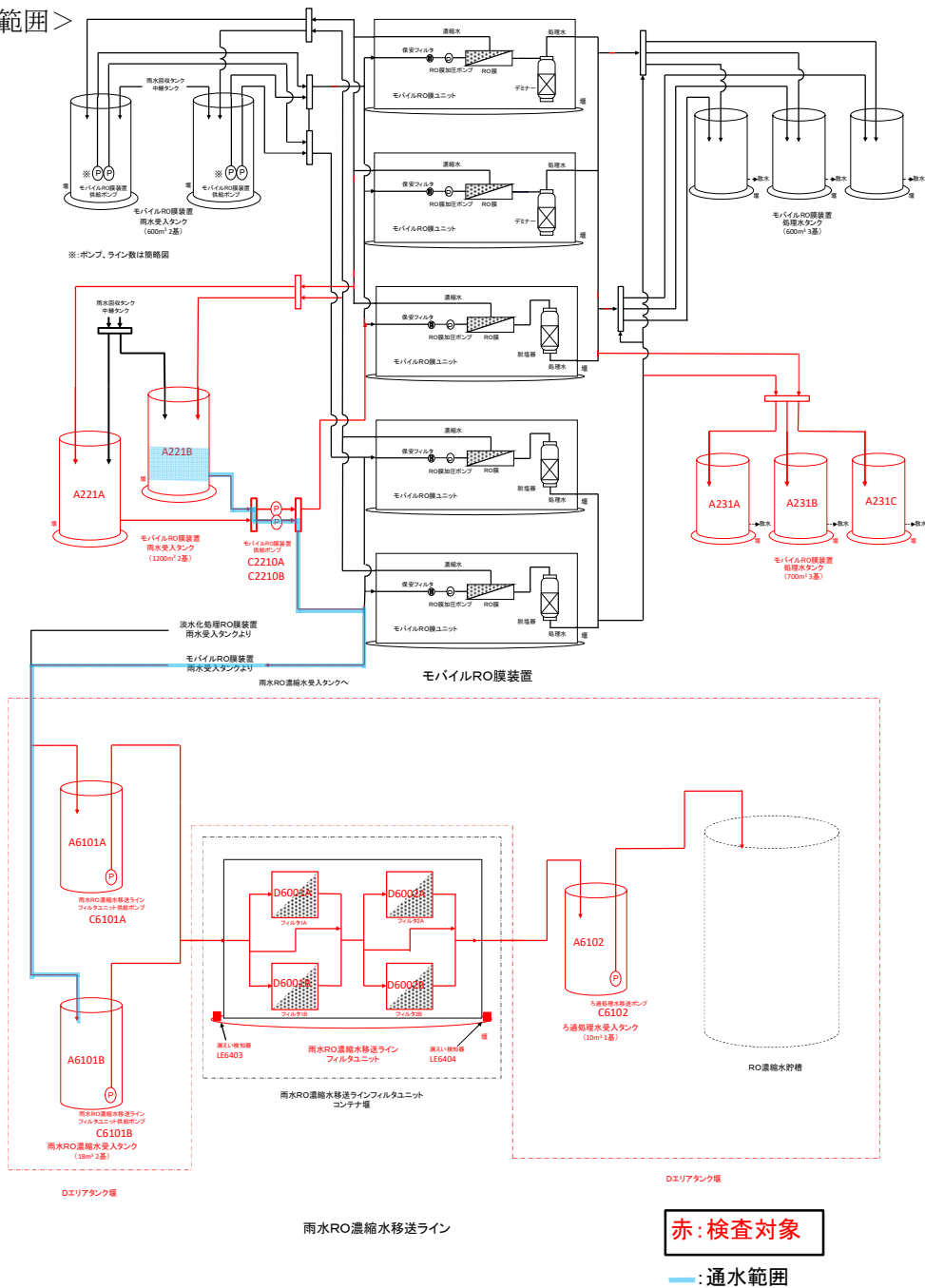
<通水範囲>



- (1) モバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m³) から雨水RO濃縮水受入タンク A までの系統構成を実施する。
- (2) モバイルRO膜装置供給ポンプ A (C2210A) を起動する。
- (3) 雨水RO濃縮水受入タンク Aへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) モバイルRO膜装置供給ポンプ A (C2210A) を停止する。

2 モバイルRO膜装置雨水受入タンク B (1200m³)→雨水RO濃縮水受入タンク B

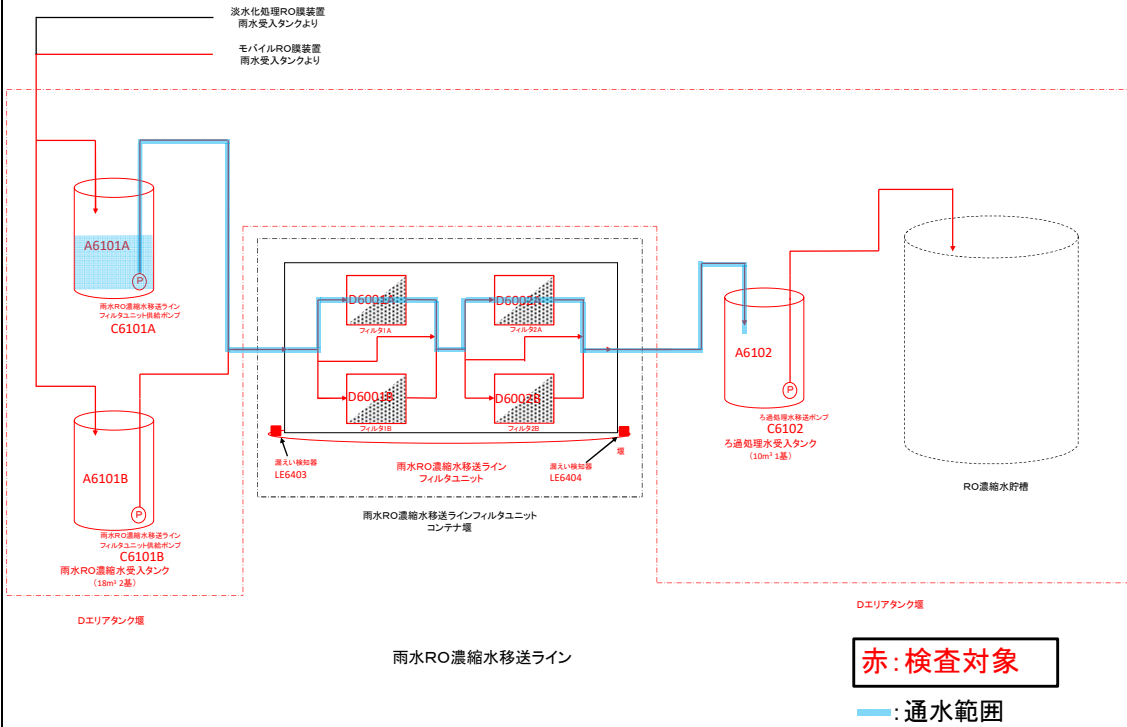
＜通水範囲＞



- (1) モバイルRO膜装置雨水受入タンク B (1200m³)から雨水RO濃縮水受入タンク B までの系統構成を実施する。
- (2) モバイルRO膜装置供給ポンプ B (C2210B)を起動する。
- (3) 雨水RO濃縮水受入タンク Bへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) モバイルRO膜装置供給ポンプ B (C2210B)を停止する。

3 雨水RO濃縮水受入タンク A→ろ過処理水受入タンク

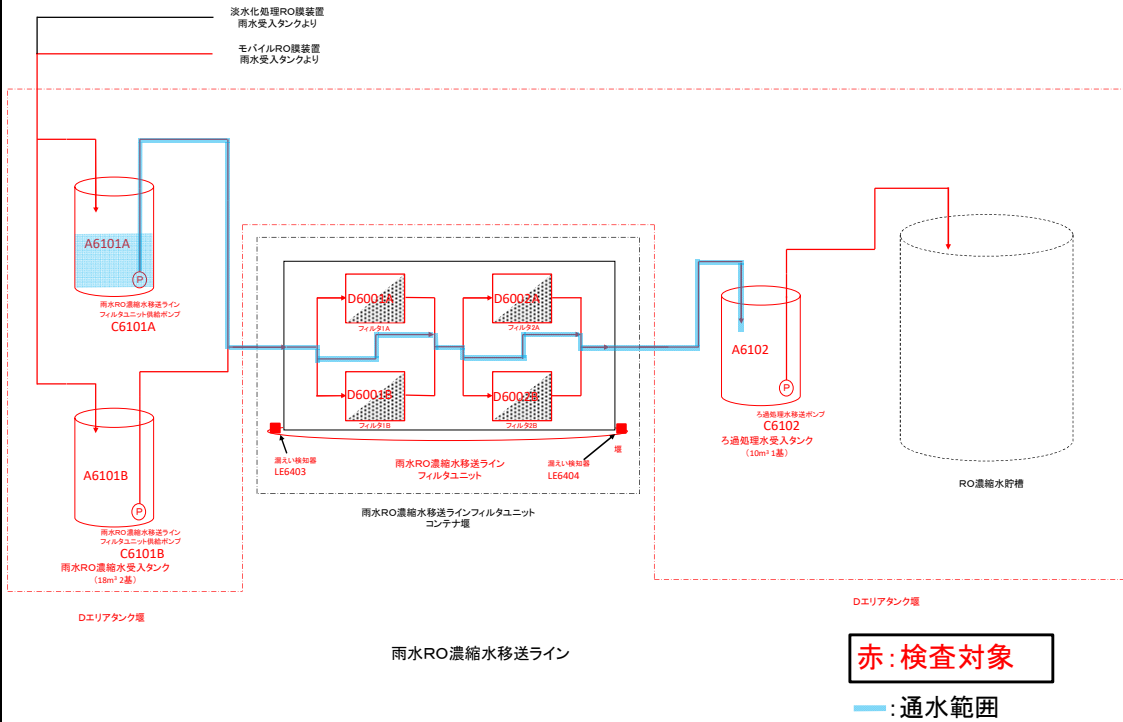
<通水範囲>



- | | |
|-----|---|
| (1) | 雨水RO濃縮水受入タンク Aからろ過処理水受入タンクまでの系統構成を実施する。 |
| (2) | 雨水RO濃縮水移送ラインフィルタユニット供給ポンプ A (C6101A) を起動する。 |
| (3) | ろ過処理水受入タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。 |
| (4) | 雨水RO濃縮水移送ラインフィルタユニット供給ポンプ A (C6101A) を停止する。 |

4 雨水RO濃縮水受入タンクA→フィルタバイパス→ろ過処理水受入タンク

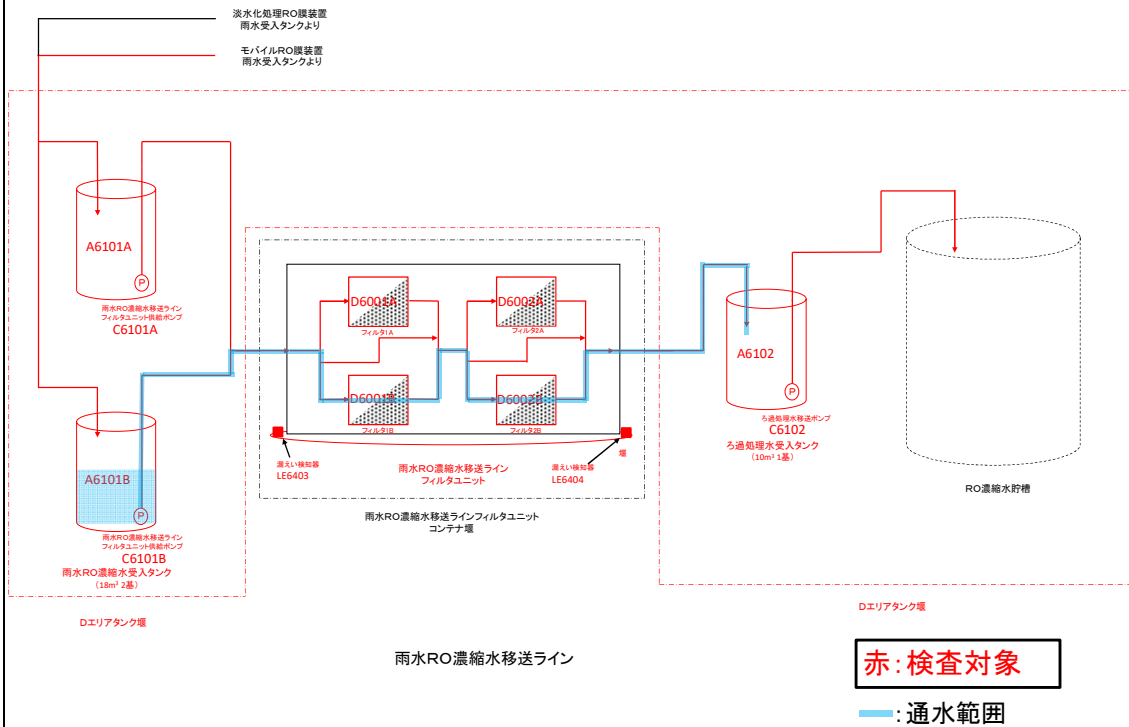
<通水範囲>



- (1) 雨水RO濃縮水受入タンクAから雨水RO濃縮水移送ラインフィルタをバイパスし、ろ過処理水受入タンクまで通水する系統構成を実施する。
- (2) 雨水RO濃縮水移送ラインフィルタユニット供給ポンプA (C6101A) を起動する。
- (3) ろ過処理水受入タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) 雨水RO濃縮水移送ラインフィルタユニット供給ポンプA (C6101A) を停止する。

5 雨水RO濃縮水受入タンクB→ろ過処理水受入タンク

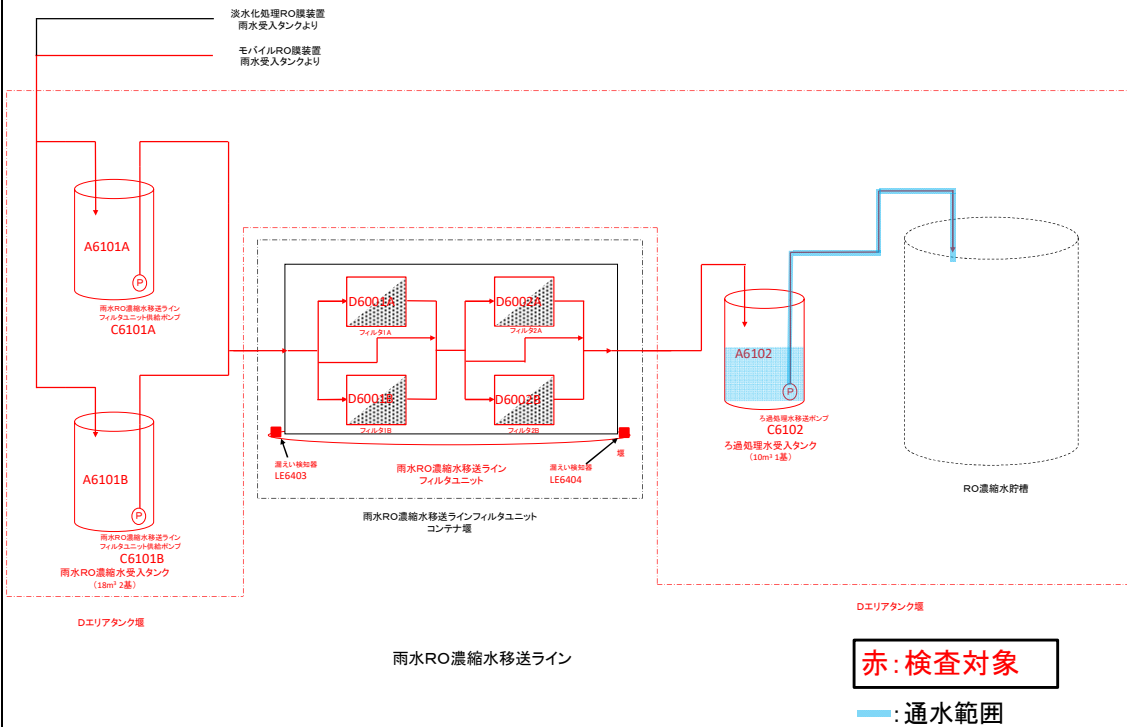
<通水範囲>



- | | |
|-----|--|
| (1) | 雨水RO濃縮水受入タンクBからろ過処理水受入タンクまでの系統構成を実施する。 |
| (2) | 雨水RO濃縮水移送ラインフィルタユニット供給ポンプB (C6101B) を起動する。 |
| (3) | ろ過処理水受入タンクへ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。 |
| (4) | 雨水RO濃縮水移送ラインフィルタユニット供給ポンプB (C6101B) を停止する。 |

6 ろ過処理水受入タンク→RO濃縮水貯槽 (D-D 7)

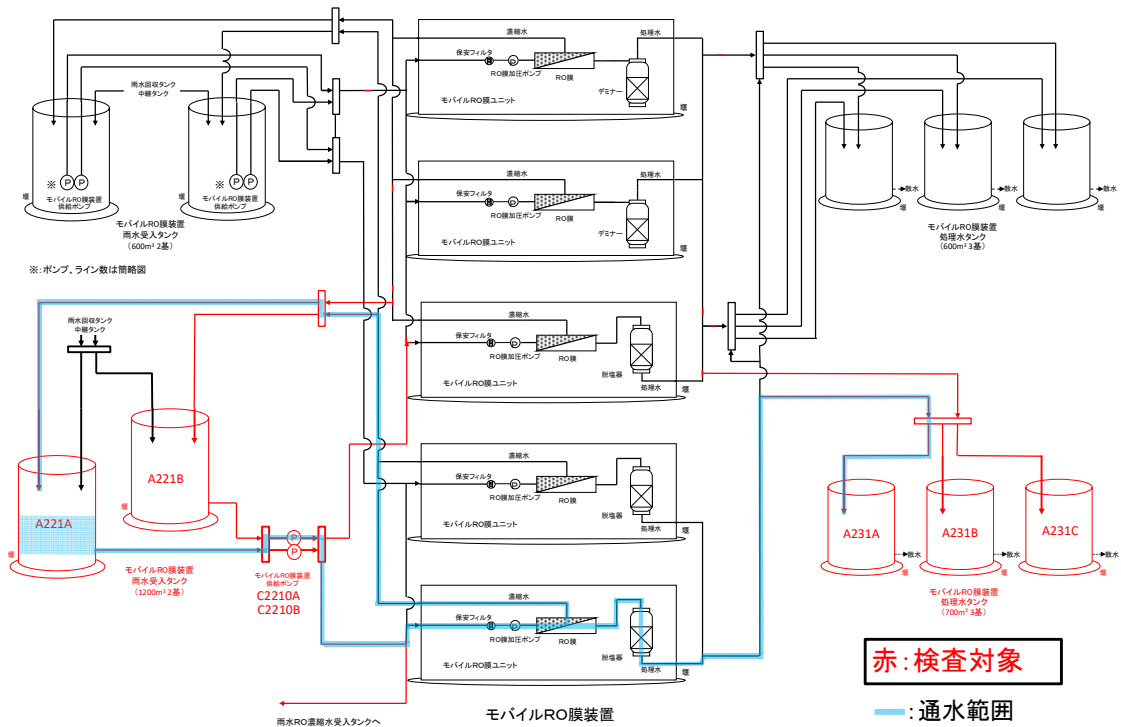
< 通水範囲 >



- (1) ろ過処理水受入タンクからRO濃縮水貯槽 (D-D 7) までの系統構成を実施する。
- (2) ろ過処理水移送ポンプ (C6102) を起動する。
- (3) RO濃縮水貯槽 (D-D 7) へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (4) ろ過処理水移送ポンプ (C6102) を停止する。

7 モバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m³) →
モバイルRO膜装置処理水タンク A (700m³)

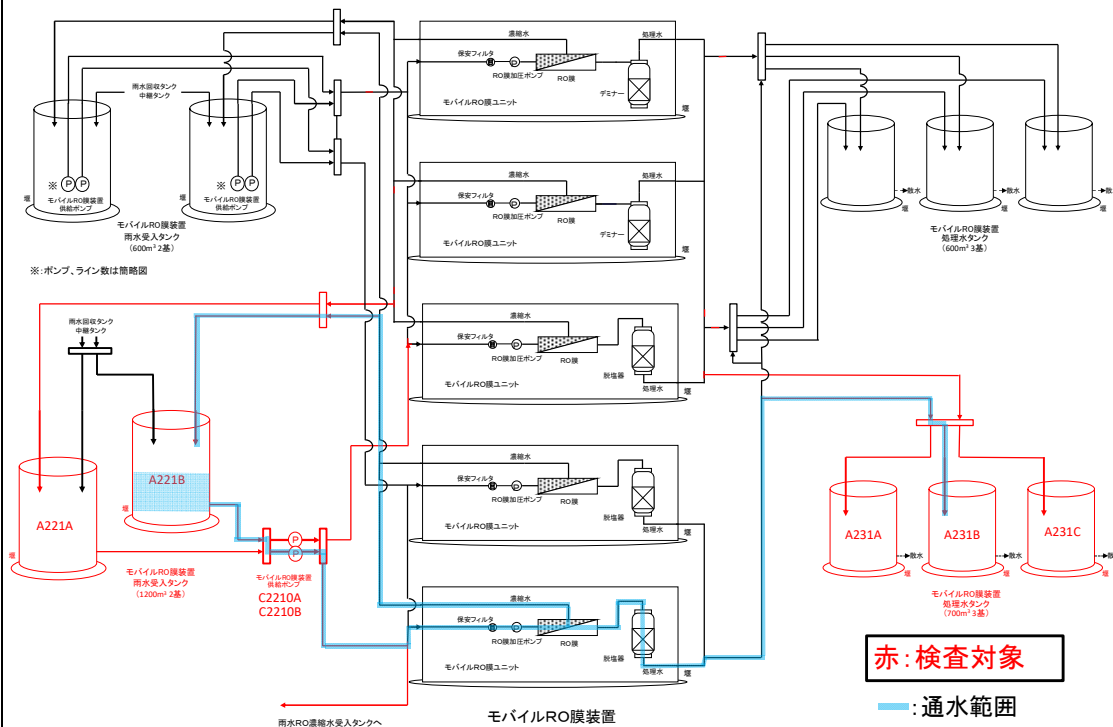
<通水範囲>



- | | |
|-----|---|
| (1) | モバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m ³) からモバイルRO膜装置処理水タンク A (700m ³) までの系統構成を実施する。 |
| (2) | モバイルRO膜装置供給ポンプ A (C2210A) を起動する。 |
| (3) | モバイルRO膜装置 E を起動する。 |
| (4) | モバイルRO膜装置処理水タンク A (700m ³) へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。 |
| (5) | モバイルRO膜装置 E からの再循環により、モバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m ³) へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。 |
| (6) | モバイルRO膜装置 E を停止する。 |
| (7) | モバイルRO膜装置供給ポンプ A (C2210A) を停止する。 |

8 モバイルRO膜装置雨水受入タンク B (1200m³) →
モバイルRO膜装置処理水タンク B (700m³)

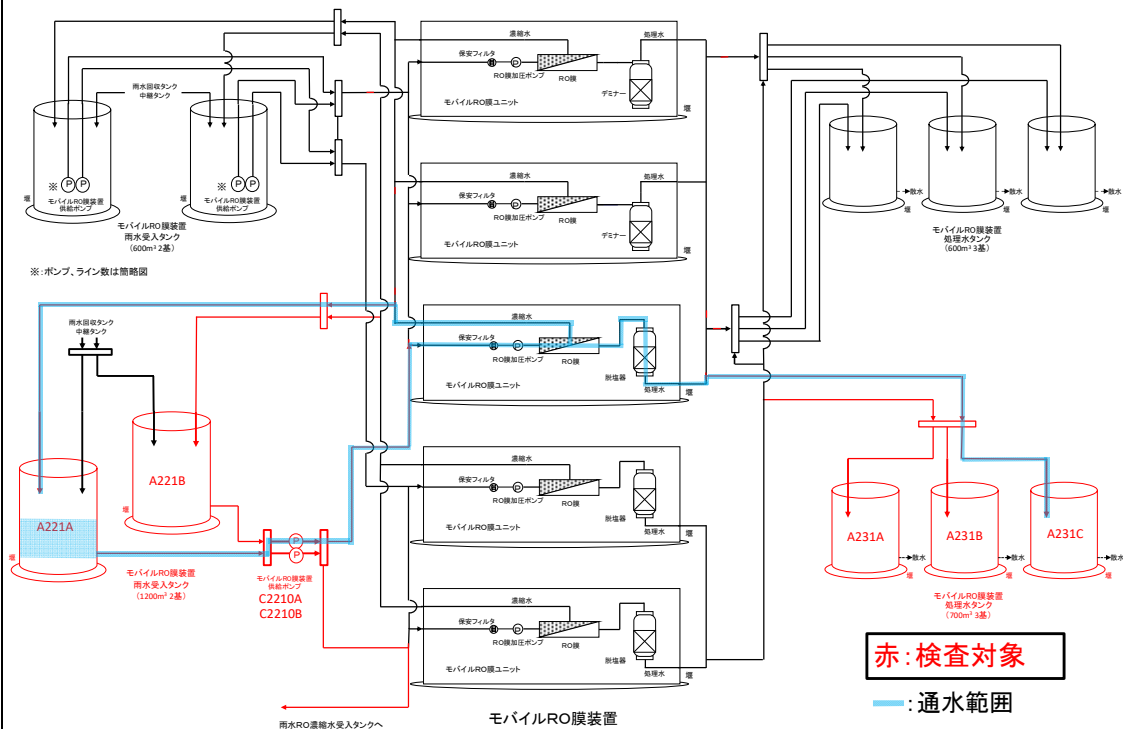
<通水範囲>



- (1) モバイルRO膜装置雨水受入タンク B (1200m³) からモバイルRO膜装置処理水タンク B (700m³) までの系統構成を実施する。
- (2) モバイルRO膜装置供給ポンプ B (C2210B) を起動する。
- (3) モバイルRO膜装置 E を起動する。
- (4) モバイルRO膜装置処理水タンク B (700m³) へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (5) モバイルRO膜装置 E からの再循環により、モバイルRO膜装置雨水受入タンク B (1200m³) へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (6) モバイルRO膜装置 E を停止する。
- (7) モバイルRO膜装置供給ポンプ B (C2210B) を停止する。

9 モバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m³) →
モバイルRO膜装置処理水タンク C (700m³)

<通水範囲>



- (1) モバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m³) からモバイルRO膜装置処理水タンク A (700m³) までの系統構成を実施する。
- (2) モバイルRO膜装置供給ポンプ A (C2210A) を起動する。
- (3) モバイルRO膜装置 C を起動する。
- (4) モバイルRO膜装置処理水タンク C (700m³) へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (5) モバイルRO膜装置 C からの再循環により、モバイルRO膜装置雨水受入タンク A (1200m³) へ通水でき、かつ、漏えいのないことを確認する。
- (6) モバイルRO膜装置 C を停止する。
- (7) モバイルRO膜装置供給ポンプ A (C2210A) を停止する。